

(中国乙21)  
猩紅熱 発生推移  
＝2025年12月度＝

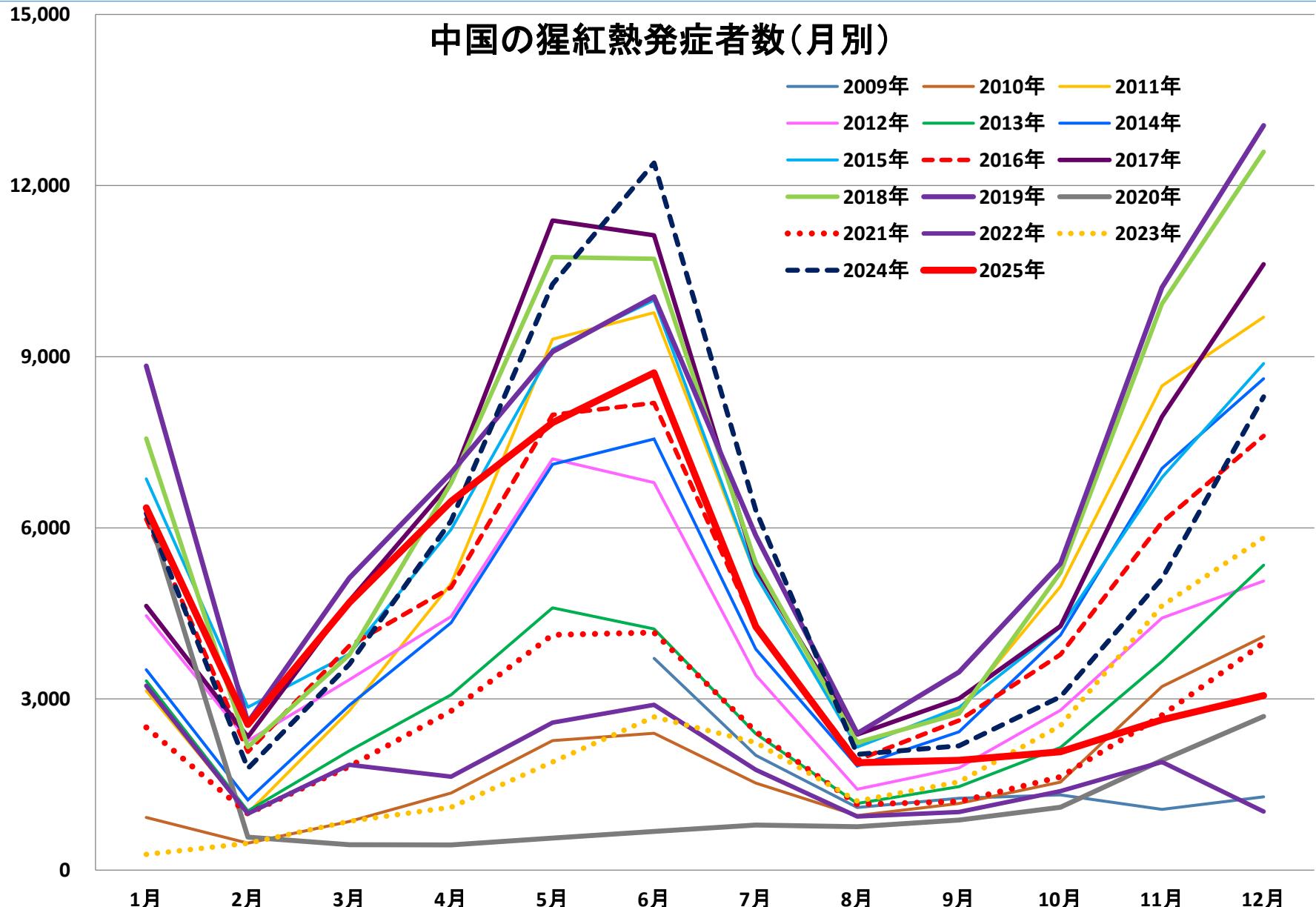
発表:2026年1月9日 国家NDPCA

作成:2026年1月12日  
日本中医療衛生情報研究所

## 乙19：猩紅熱

- ・日本では、1998年の法改正で、法定伝染病ではなくなった。
- ・現在、日本の感染症法ではA群溶血性レンサ球菌咽頭炎（溶連菌感染症）として診断・治療を行うことが大半だが、
- ・中国・香港・マカオ及び韓国では、法定報告感染症として指定されている。
- ・3月～6月、11月～翌年1月の二度のピーク期がある点は、手足口病と似ている。
- ・2011年を除けば、毎年増加傾向にあったが、
- ・2020年は、COVID-19の影響で激減したと言えよう。
- ・死に至ることは稀
- ・主に子供に多く見られるのはこれも手足口病に似ている

# 乙19：猩紅熱



# 乙19：猩紅熱

5

中国の猩紅熱死者数(月別)

4

3

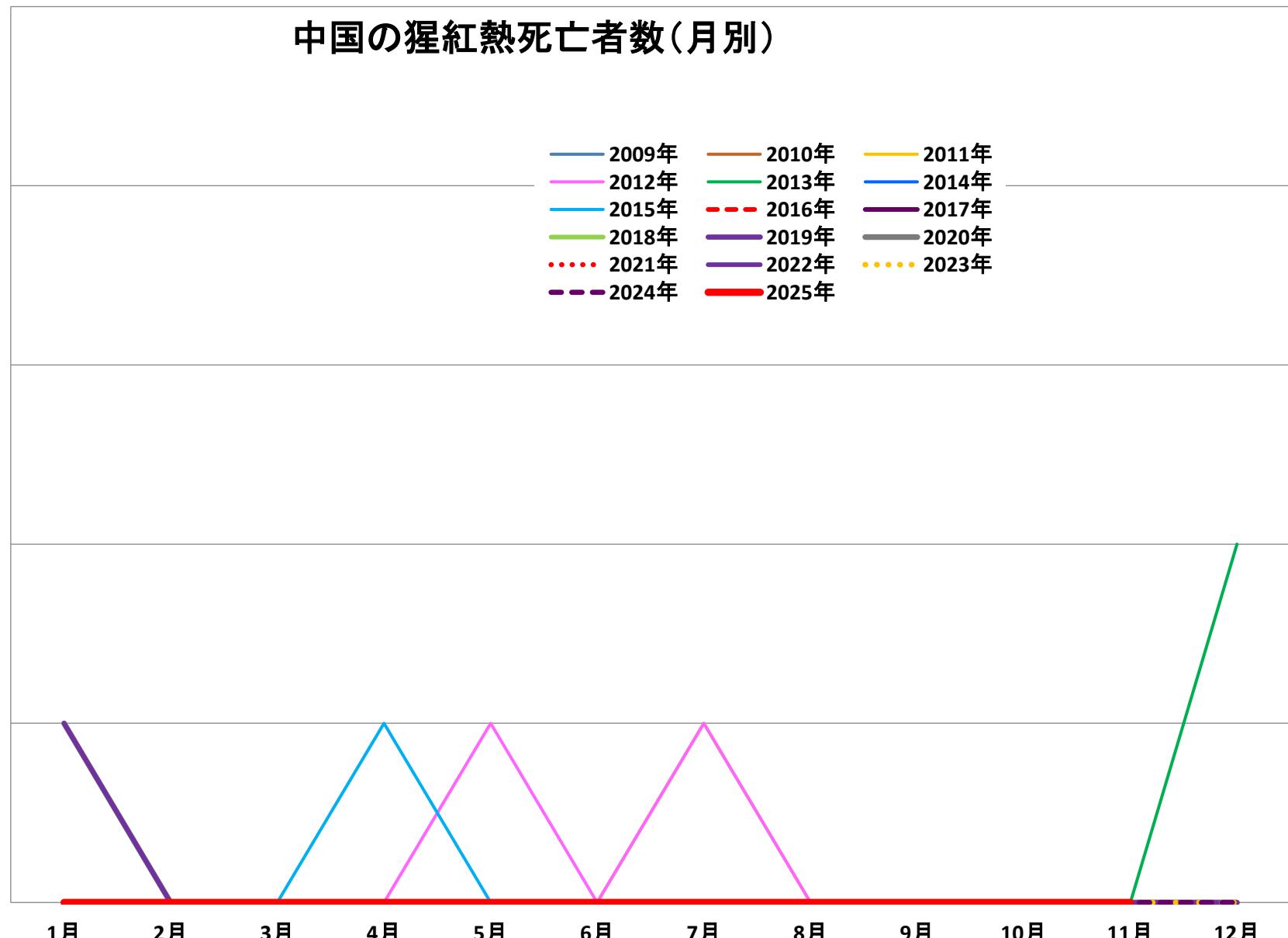
2

1

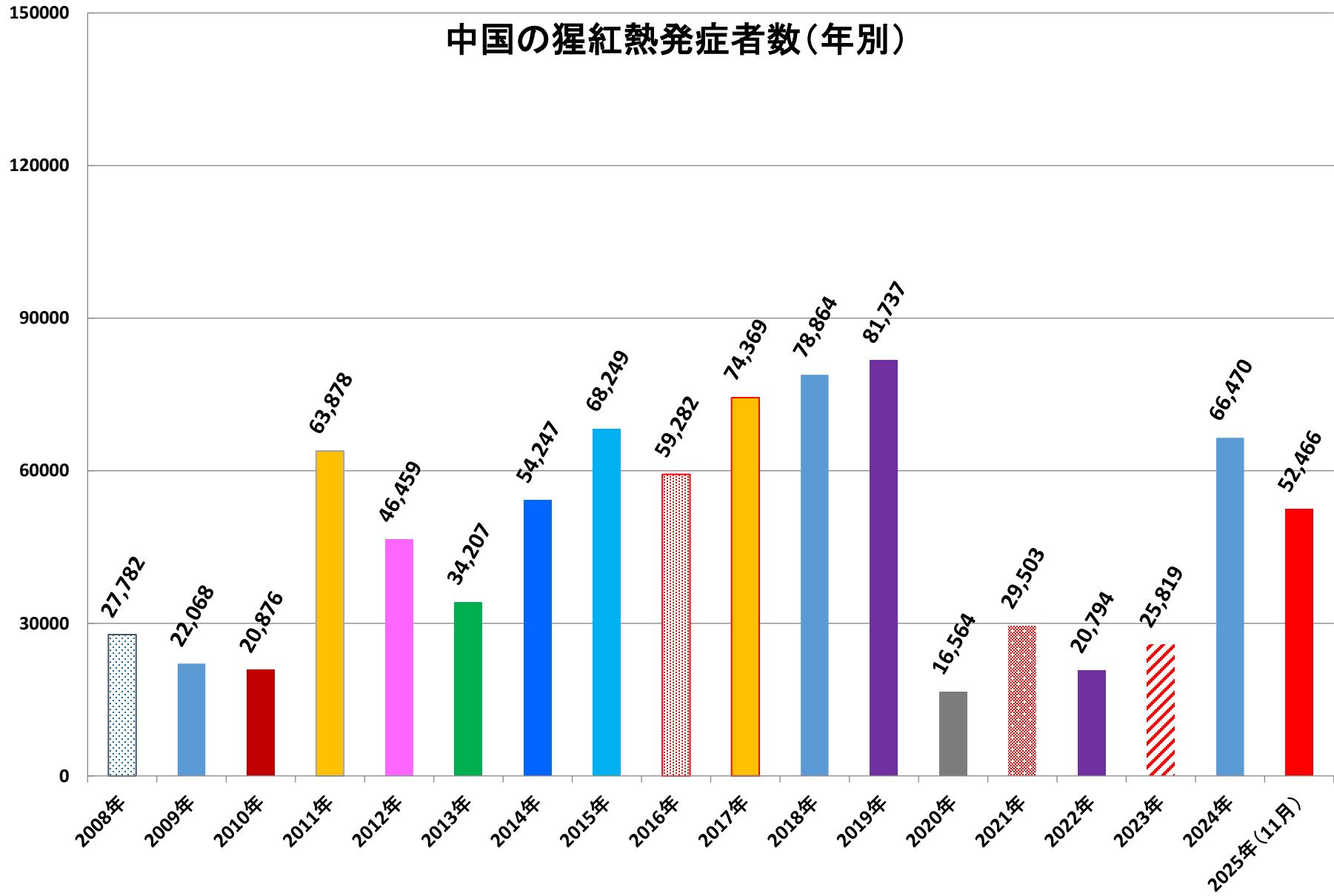
0

2009年 2010年 2011年  
2012年 2013年 2014年  
2015年 2016年 2017年  
2018年 2019年 2020年  
2021年 2022年 2023年  
2024年 2025年

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月



# 乙19：猩紅熱



# 乙19：猩紅熱

中国の猩紅熱死者数(年別)

